**学校だより**

# 翔　　空

№２４　平成２４年　９月２７日（木）
郡山市立喜久田中学校長　大堀　昌弘

## 「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

## ◇ 郡山市中体連新人戦すばらしい成果が出ました。バドミントン部 男子団体優勝　男子ダブルス・シングルス・女子ダブルスなど数多く入賞しました。◇

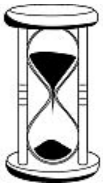
「**皆さん**、今回皆さんに新人戦前にお伝えしたいこと、それは２つあります。一つ目は、**「勝利の陰に涙あり」**。もう一つは、**「折れない心」**です。・・・（途中省略）・・・とにかく、最後の１分１秒まで粘り強く試合を行ってきてください。」

**このように**９月２４日に行われた激励会で生徒に話をしました。この話をまさに有言実行してくれたのがバドミント部男子です。決勝戦までの詳細を顧問の先生からお伺いしたところ、ブロックで負けた相手に、最終的にオーダーを変えることなく行ったら勝てたとのことです。決勝戦ですから極度の緊張感の中での試合となったことは言うまでもないことでしょう。しかし、２学年主任の山田先生が常におっしゃっている「君たちは、やればできる。常に勝つことを意識しなさい。」の言葉通り最後まで力を振り絞ってがんばってくれました。本当におめでとう！県中大会でも活躍してください。

**バドミントン部男子団体優勝**　　シングルス３位　木村　太星くん
ダブルス準優勝　渡邉　直弥くん
増子　大希くん
女子ダブルス　３位　遠藤　希望さん
三瓶しずかさん

**その他、次の２ペアが県中大会に出場する権利を得ました。**
男子ダブルス　安齋　和起くん
伊東　龍祈くん
女子ダブルス　武田　寿理さん
新田　優花さん

**バドミントン部以外**でも、顧問の先生方からうれしい報告をたくさん頂いております。野球部が１０名の部員ながら熱海中に勝利し、横綱級の郡山七中相手に善戦したこと。女子バスケットボール部が、片平中にトリプルスコアで勝ち、あの明健中（クリクラカップ準優勝校）に善戦したこと。（５０－５２で惜敗）サッカー部が９名（数的な不利）で郡山六中と戦い、破れはしたものの（０－１２）次年度の大きな課題が見つかったこと。剣道部の奥山君が練習相手がいない中でもがんばって戦ったこと。男子バスケットボール部が、優勝候補相手に２６点取れたこと。バレー部女子が熱海中との試合において２セット目最後の最後まで食い下がったこと、等々。



**本日の朝の職員打合せでは**、来週から文化祭の準備一色となるので、クラスや学年のまとまりを大切にして指導するよう先生方にお願いしました。また、バドミントン部の生徒に対しては、さらに上を目指して気合いを入れて取り組ませること、残念ながら今回勝利を勝ち取ることができなかった残りのチームの生徒には、引き続き丁寧な指導を継続して行うようお願いしました。なんと言っても本校の生徒の大きな課題は、プレッシャーに弱いということです。いざという時に、実力が発揮できるよう今後も指導を継続して参ります。「勝利の陰に涙あり」きっと、どのチームの生徒もこれを実感したことと思います。苦しい練習に耐え抜いたからこそつかむことのできた勝利であったと思います。

**※　来週から衣替え準備です。願いがしお風すがすき秋ごいます。**

## 【 英語のことわざ 】＊真理を突いている珠玉の言葉＊

皆さんは、"A sound mind in a sound body." ということわざはご存じでしょうか？前にも紹介しましたが、元々は「健全な心は健全な肉体に宿る」という意味ではなかったようです。ウィキペデアなどで調べると、ユウェナリス 10 番目の詩の"Mens sana in corpore sano" が出典でその本来の意味は、「心と体が健康でありますように」という意味だそうです。

***→ "A sound mind in a sound body."***

**読み方：「ア　サウンド　マインド　イン　ア　サウンド　バディ」**
（しっかりと韻を踏んだ覚えやすい諺ですね。ちなみに、sound とは、「音」ではなく「健全な」〔形容詞〕という意味です。）